

## 指導と評価の年間計画(国語表現)

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科 目	国語表現	学 年	2	指導クラス	1・2・3組		
単 位 数	2	使用教科書	国語表現 (大修館)		副教材・問題集等	L T 現代文 1 (浜島書店)	

### 1. 科目の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

### 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
自分の思いや考え方を多彩表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を磨き語彙を豊かにすること。	目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。	自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫しようとする。

### 3. 指導及び評価計画

月	指導の領域 指導時間		単元名	指導項目(単元目標)	主な言語活動	評価の場面・方法	評価の観点			教材名
	話 聞	書					a	b	c	
4 ・ 5	5	5	言葉と出会う	【思・判・表】 自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫する。	仮名遣い、送り仮名、漢字の使い分けなど表記を意識して、正しい分を書く。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	言葉と表記整った文を書く 分かりやすい文を書く。
	3	6		【思・判・表】 相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感を得られるように表現を工夫すること。	和語・漢語・外来語や敬語の語彙を正しく理解し、適切に使い分けて話す。	行動観察 課題点検 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
6	5	7	伝える、伝え合う	【思・判・表】 自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。	それぞれの自己紹介の方法や目的、適切な話し方を理解し、工夫して紹介している。	行動観察 ワークシート 課題点検 発表	○ ○ ○	○ ○	○ ○	自己紹介ゲーム 言葉のストレッチ体操
	1			定期考査				○	○	
		10		【思・判・表】 社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書く活動をする。	事実と意見の違いを理解し、それを踏まえて効果的な文章構成を工夫している	行動観察 課題点検 発表	○ ○	○ ○	○ ○	

7・8				【知識・技能】 自分の思いや考えを多 彩に表現するために必 要な語句の量を増やし 、話や文章の中で使う ことを通して、語感を 磨き語彙を豊かにする こと。						
		10	小論文・レ ポート	【思・判・表】 目的や意図に応じて、 実社会の問題や自分に 関わる事柄の中から適 切な題材を決め、上方 の組み合わせなどを工 夫して、伝えたいこと を明確にすること。	小論文とは何か を理解し、適切な 構成や展開の仕 方など基本的な 書き方を身に付 ける。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	小論文とは 何か 反論を想定 してかく 文章を読み 取って書く
9	5	10	小論文・レ ポート	【思・判・表】 目的や意図に応じて、 実社会の問題や自分に 関わる事柄の中から適 切な題材を決め、上方 の組み合わせなどを工 夫して、伝えたいこと を明確にすること。	テーマに応じて 理由や根拠を明 確にして筋道を 立てながら小論 文を書き、推敲す る。	行動観察 ワークシート 課題点検	○ ○	○	○	小論文、レ ポートを書 く 論文を書く ために
		1	定期考査				○	○		
10・11	5	10	自己PRと面 接	【思・判・表】 自分の考えが的確に伝 わるように自分の立場 や考えを明確にし、話 の構成や展開を工夫す る。 【知識・技能】 言葉には、自己と他者 の相互理解を深める働 きがあることを理解す ること。	自分を見つめ、自 分に関わること の中から適切な 話題を判断し、話 すことができる。  自分の経験を肯 定的に振り返り、 他者の意見を聞 いて参考にし、こ れまでの人生を まとめることが できる。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	自分を見つ めて 効果的な自 己PR 将来の自分 を考えよう 履歴書の書 き方
		10	グループデ ィスカッシ ョン	【思・判・表】 複数の文章を読み、理 解したことをまとめる 。 【知・技】 自分の思いや考えを多 彩に表現するために必 要な語句の量を増やし 、話や文章の中で使う ことを通して、語感を 磨き語彙を豊かにする こと。	目的に適した言 葉遣いや集団の 中でのふるまい 方を理解して的確 に使い分けて いる	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	グループデ ィスカッシ ョン
12	5		メディアを 駆使する	【思・判・表】 資料や機器を効果的に 活用し、相手の理解が 得られるように表現を 工夫する。		行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	通信文をか き分ける

		5		<p>【思・判・表】 目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝える内容を明確にする。</p> <p>【知・技】 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解する。</p>	<p>表記、表現の基本的なルールを理解し、書き方の基礎に対する自分自身の課題に気づき、活動を通して解決する。</p>	<p>行動観察 ワークシート 発表</p>	○ ○	○ ○	○ ○	<p>ネットとの付き合い方 ネットを活用した情報収集</p>
		1	定期考査				○	○		
1 ・ 2	5	5	表現を楽しむ	<p>【思・判・表】 自分の考えが的確に伝わるように自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する。</p> <p>【知・技】 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解する。</p>	<p>話し言葉の特徴をふまえ、相手に配慮して話す速度や、声の調子、身振りや表情などの、適切な表現を理解し状況に応じて使い分ける。</p>	<p>行動観察 ワークシート 発表</p>	○ ○	○ ○	○ ○	<p>言葉で遊ぶ 無人島で生き残れ</p>
	3	10		<p>【思・判・表】 目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、上方の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>【知・技】 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</p>	<p>表現したいポスターのイメージにふさわしい言葉遣いを適切に選び、正しい感じや表記を使い分けている。</p>	<p>行動観察 ワークシート 発表</p>	○ ○	○ ○	○ ○	<p>魅力的なポスターを作ろう</p>

		1	定期考査					○	○		
3	話 聞	書	<p>【現代の国語】2単位 で実施する 場合 話すこと・ 聞くこと 2 0～30単位時 間程度 書くこと 3 0～40単位時 間程度 読むこと 1 0～20単位時 間程度 (※実施単 位数に応じ て領域ごと の時間数を 増やすこと )</p>								
			<p>【現代の国語】3単位で実施する場合 話すこと・聞くこと 30～40単位時間程度 書くこと 75～80単位時間程度 (※実施単位数に応じて領域ごとの時間数を増やすこと)</p>								
		30	75								
		105									